

# 旅立ち

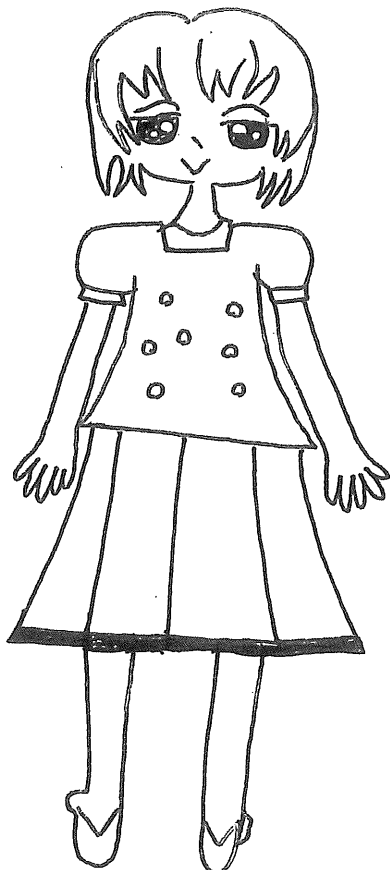
社会福祉法人しらとり会  
当事者通信 (NO. 113)  
令和 7 (2025) 年3月 1 発行

今月は、6名の方からの投稿です。

## 「心の傷を癒すということ」

心の傷はなかなか癒されない遠い昔の事。  
17歳の時、高校で恋に落ちた。それはどうしようもない事だった。まさか1979年2月に高校2年生のEさんが急性骨髄性白血病で亡くなるなんて思いもしなかった。2025年の2月を迎えるに当たって遠い記憶の欠片を開けてみた苦しい思い出、天折。64歳になる僕は責任を持って生きていかなければならない。

(Y.Y.)

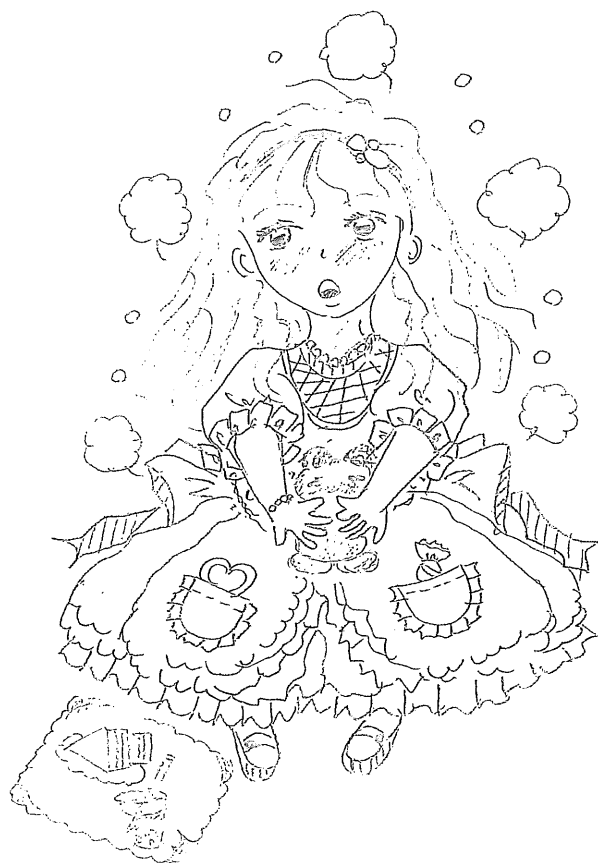


リトルミー

37歳か38歳の頃、パートで仕事をしていたのにしんどくなって辞めた。でも遊んでいてお金がピンチになった。どんどん妄想が出てきたにもかかわらず、精神薬を飲まなかったり2錠を1錠にしたり半錠にしていた。まともな考えができなくなっていた。寝てない日もあった。交番に車をとめて、車から降りて助けてもらおうと思ってるのに、反対の方を向いたり、気がふれたふりをしたりして、困らせてやろうとした。そしたら、警察署に連れて行かれて、人がたくさんでてきた。

(4月号に続く)

(匿名)



○大学の教授は無能の集まりで商売が下手だ。

○その証拠にそこら辺の病院や施設で働いている精神科医としても PSW としても半人前が大学の講師になり不完全な講義をして若くて頭が空白な大学生に一生懸命間違いを植え付け学生が故意に人生で迷い失敗する様に仕向けている。

○民法学の講師が不完全な民法を一生懸命教えて民法は不完全な法律で民法通りやると精神科の教授に叱られるよと学生を褒めたたえ学生の頭を撫でていい子、いい子と絶賛している。

○皆が学長になれるほど教授と言うのは偉くない。

(加藤忠男)

#### 【投稿の募集】

投稿記事は、オリジナルのイラスト、投稿者の思いです。  
読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。  
次回の締切は、3月14日（金）です。